

CPUはここさえ分かれば自作できる

Kariya Micro Maker Faire 2024

みやこ電子工房

目次

- はじめに
 - 自己紹介
 - 今日の目標
 - CPUとは？
 - CPUが作れるまでのロードマップ
 - 今日作る目標のCPU紹介
- 概念の学習
 - 組み合わせ回路
 - レジスタ
 - データのコピー
 - 命令とアドレス
- CPUを作る
 - 回路をループさせる
 - プログラムカウンタ
 - 命令デコーダ
 - 使用ソフト Logisim 使い方
 - Logisim上で作成

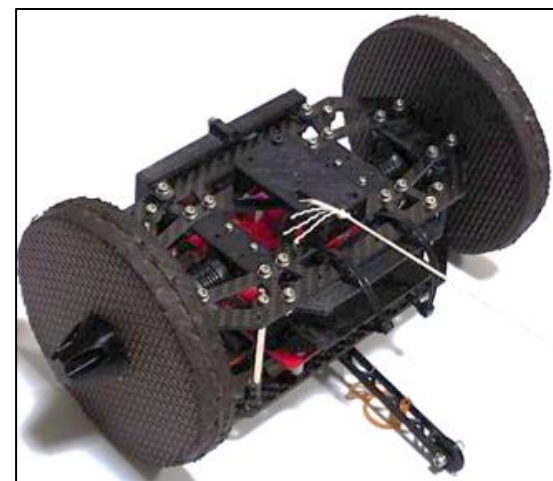
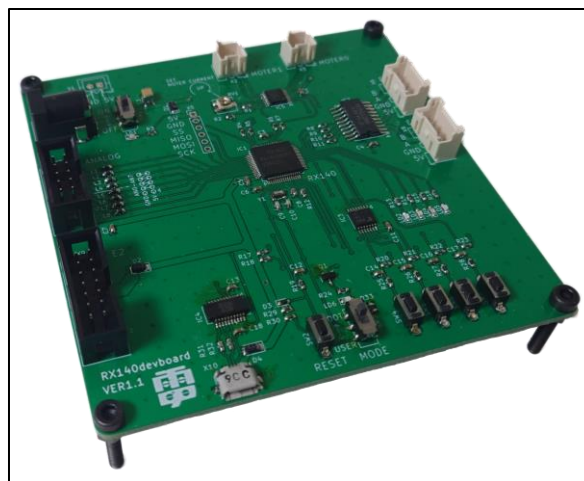
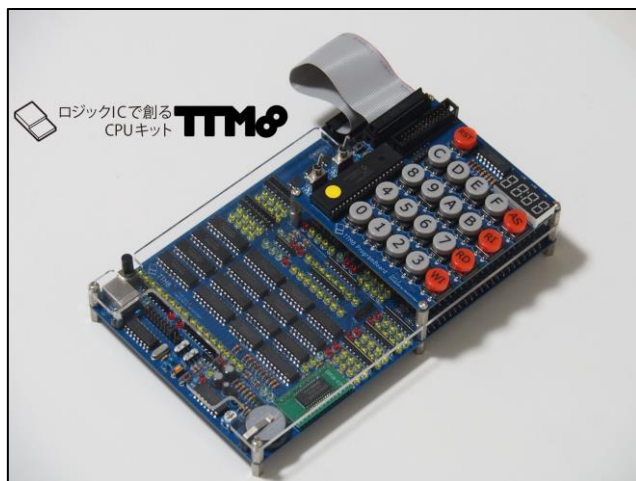
はじめに

- ▶ はじめに
- 概念の学習
- CPUを作る

みやこ電子工房

MIYAKO DENSHI KOBO

電子工作中心のモノづくりのサークル
自作CPUやマイコンボードを製作

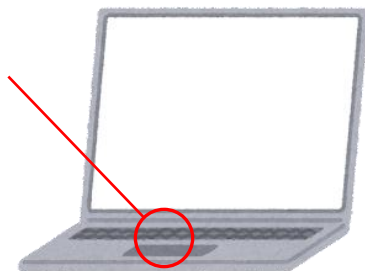
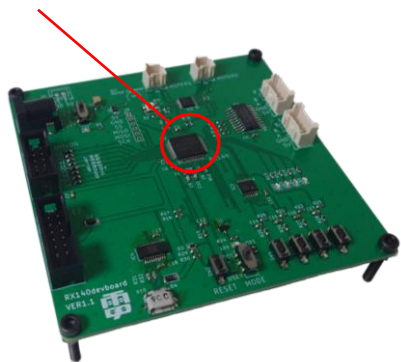


CPUを作れるようになる

CPUとは

CPU(中央演算処理装置) Central Processing Unit

- ・ プログラムを解釈して実行できる



CPUが作れるまでのロードマップ

CPUを構成する
概念の理解

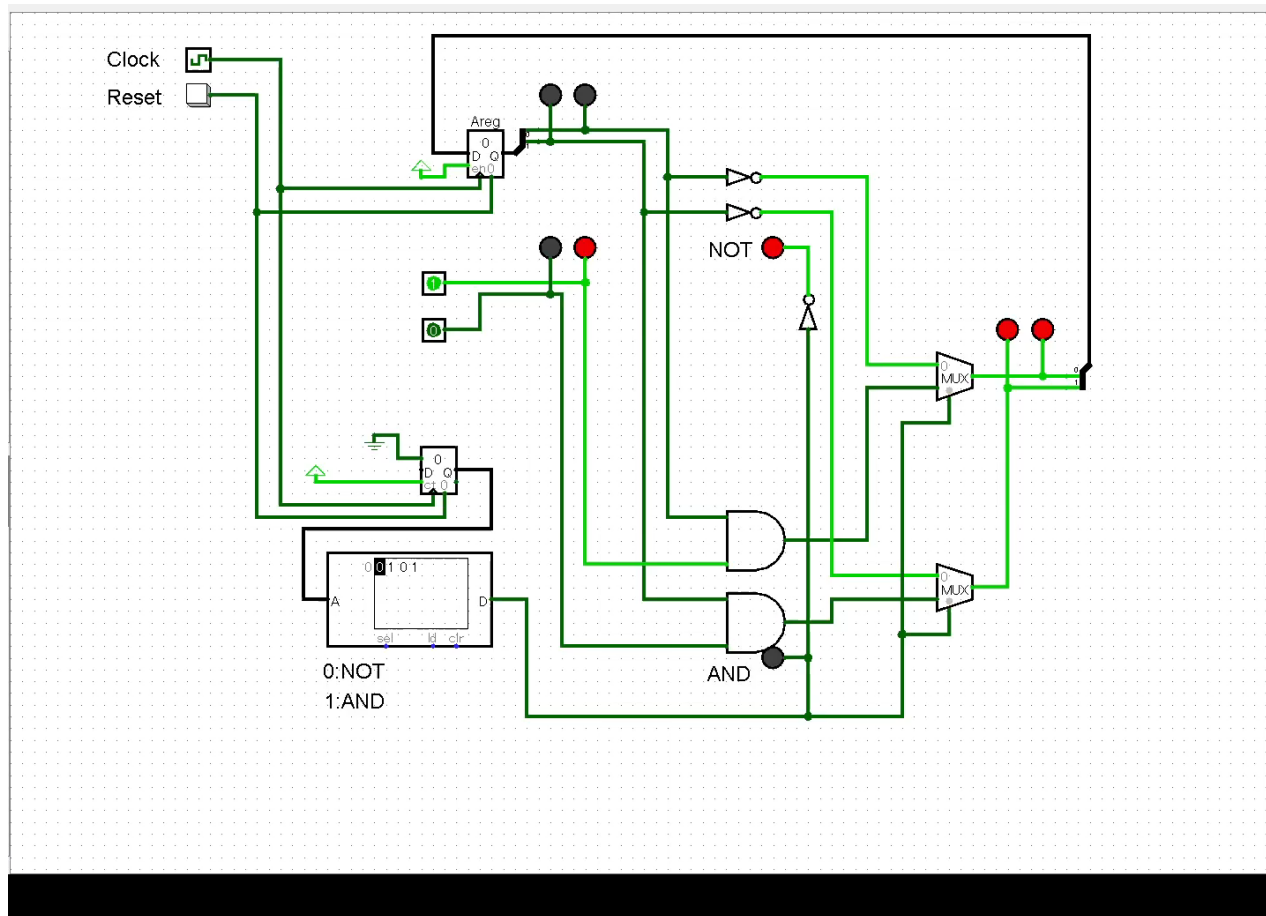
- レジスタ
- データのコピー
- 組み合わせ回路
- 命令とアドレス
- クロック
- リセット

CPUのつくりかたを理解

- 回路をループさせる
- プログラムカウンタ
- 命令デコーダ
- シミュレータ Logisim
- Logisim上で作成

今日つくるCPUの紹介

名前	2bit-MEW
bit数	2bit
レジスタ数	2
入出力	入力2bit
命令数	2
アドレス幅	2bit



2bitCPUをつくっていきます

概念の学習

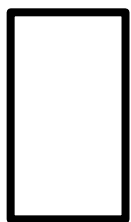
はじめに

▶ 概念の学習

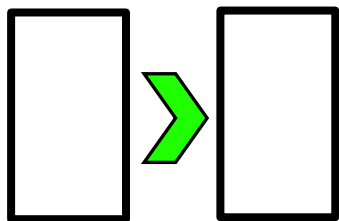
CPUを作る

CPUを構成する概念

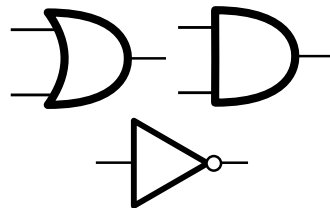
レジスタ



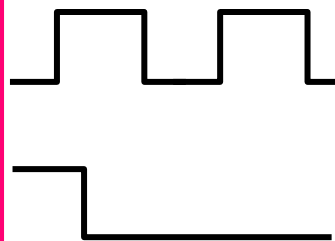
データのコピー



組み合わせ回路



クロックとリセット

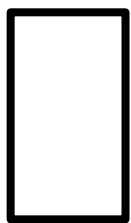


命令とアドレス

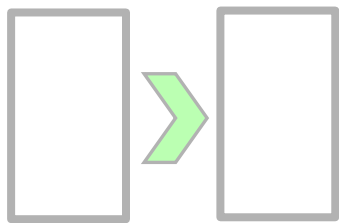
アドレス	命令
00	命令1
01	命令2
02	命令3
03	命令4

CPUを構成する概念

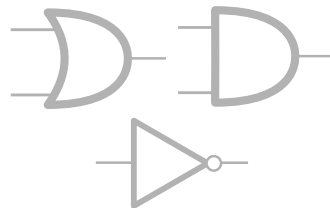
レジスタ



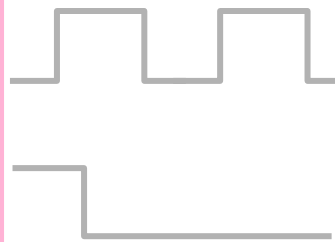
データのコピー



組み合わせ回路



クロックとリセット

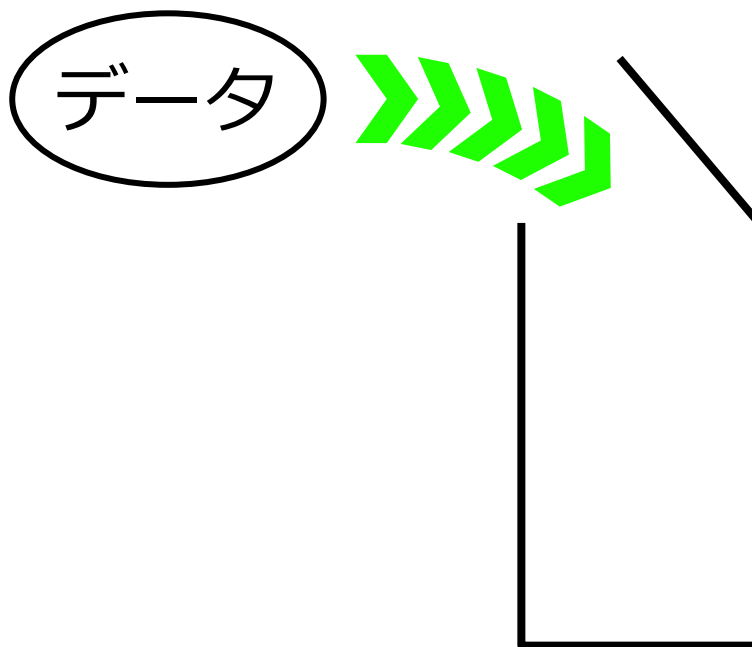


命令とアドレス

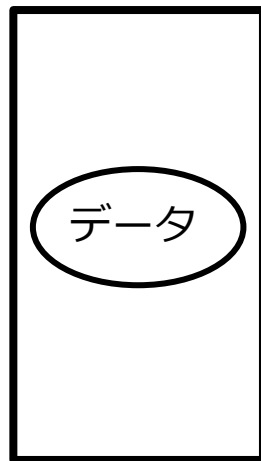
アドレス	命令
00	命令1
01	命令2
02	命令3
03	命令4



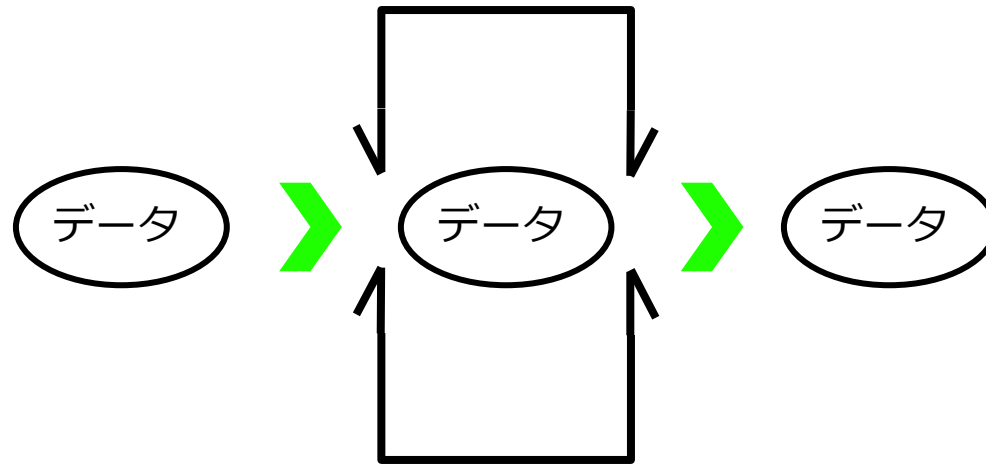
レジスタとはデータを入れる箱である



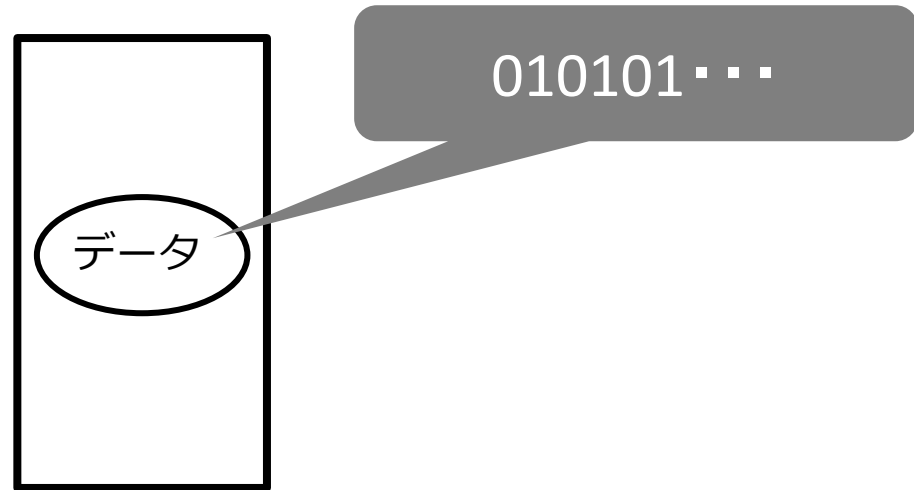
レジスタ = データを入れる箱



レジスタの中にはデータが入っている



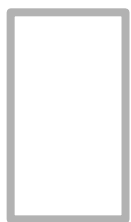
レジスタにはデータが入る入り口とデータが出て行く出口がある



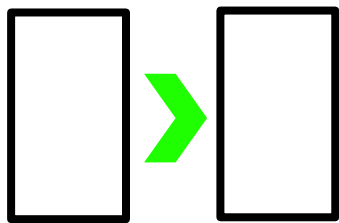
データは2進数

CPUを構成する概念

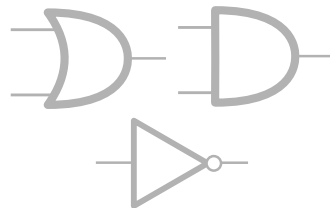
レジスタ



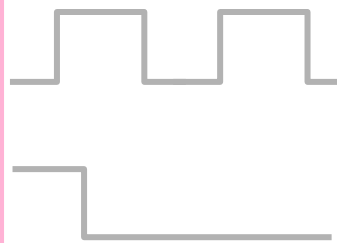
データのコピー



組み合わせ回路



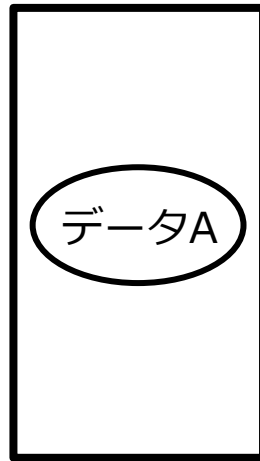
クロックとリセット



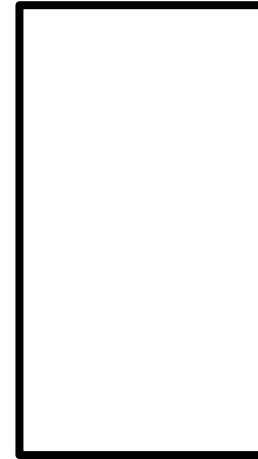
命令とアドレス

アドレス	命令
00	命令1
01	命令2
02	命令3
03	命令4

レジスタ1

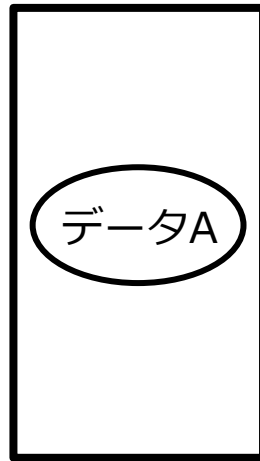


レジスタ2

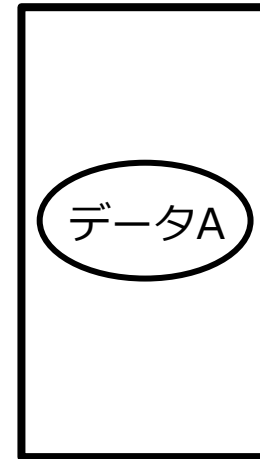


レジスタ2へデータAを格納したい

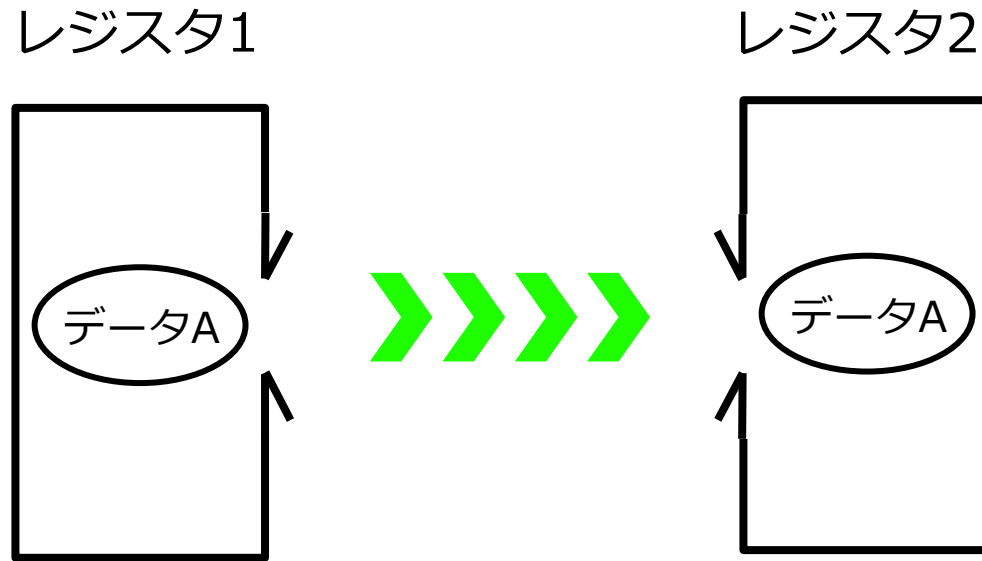
レジスタ1



レジスタ2

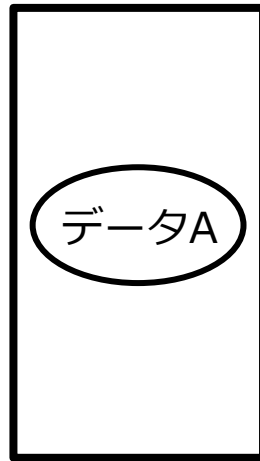


レジスタ1からレジスタ2へコピーする

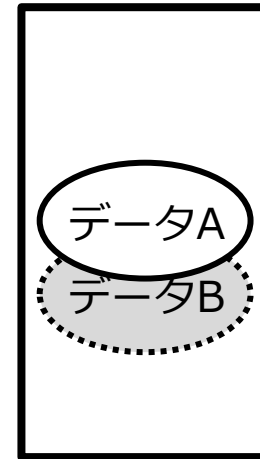


コピーするときは出入り口を開ける

レジスタ1



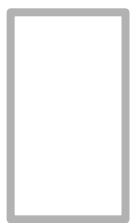
レジスタ2



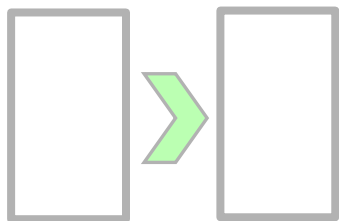
レジスタ2は上書きされる

CPUを構成する概念

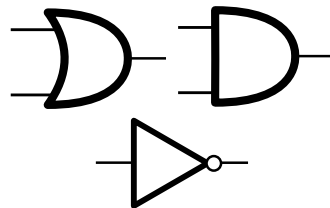
レジスタ



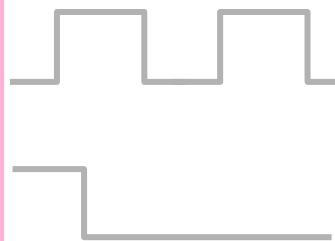
データのコピー



組み合わせ回路



クロックとリセット



命令とアドレス

アドレス	命令
00	命令1
01	命令2
02	命令3
03	命令4

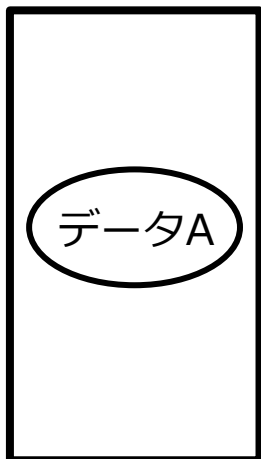


組み合わせ回路はデータを変換する

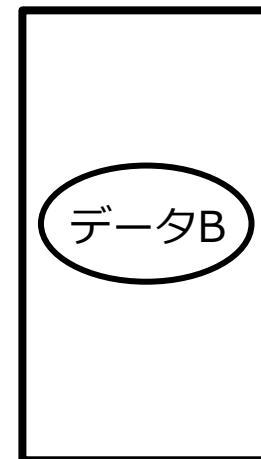


変換元が2つのデータの時もある

レジスタ1

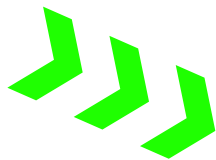


レジスタ2

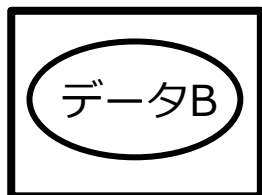


データをコピーする途中に
組み合わせ回路を介して変換

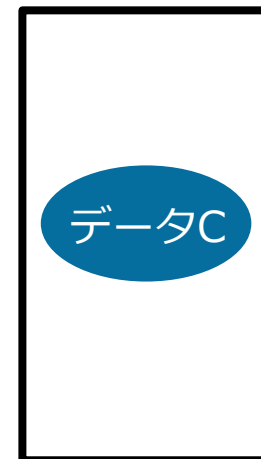
レジスタ1



レジスタ2



レジスタ3

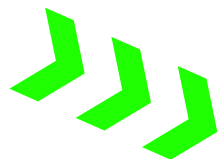
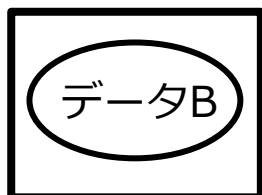


変換元が2つのデータの時

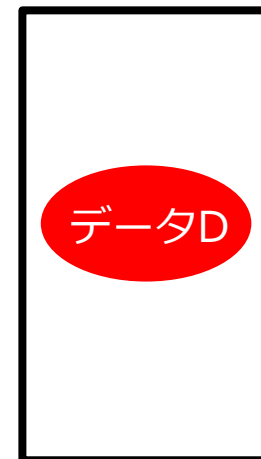
レジスタ1



レジスタ2



レジスタ3



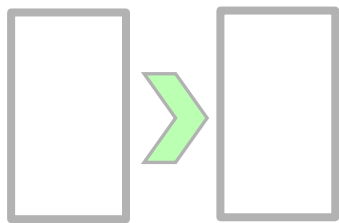
組み合わせ回路を変えると
変換の仕方も変わる

CPUを構成する概念

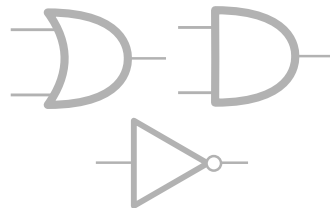
レジスタ



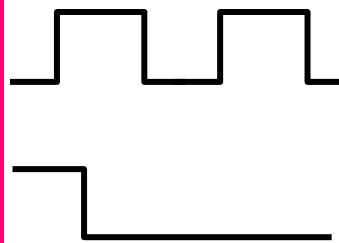
データのコピー



組み合わせ回路

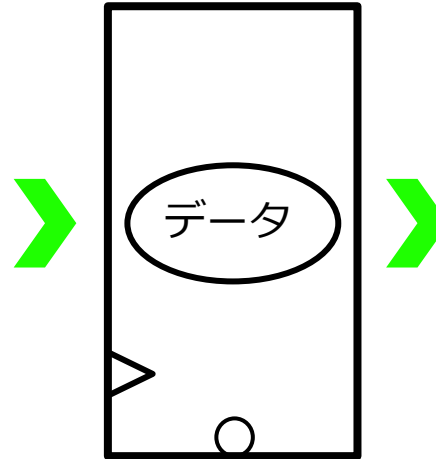


クロックとリセット

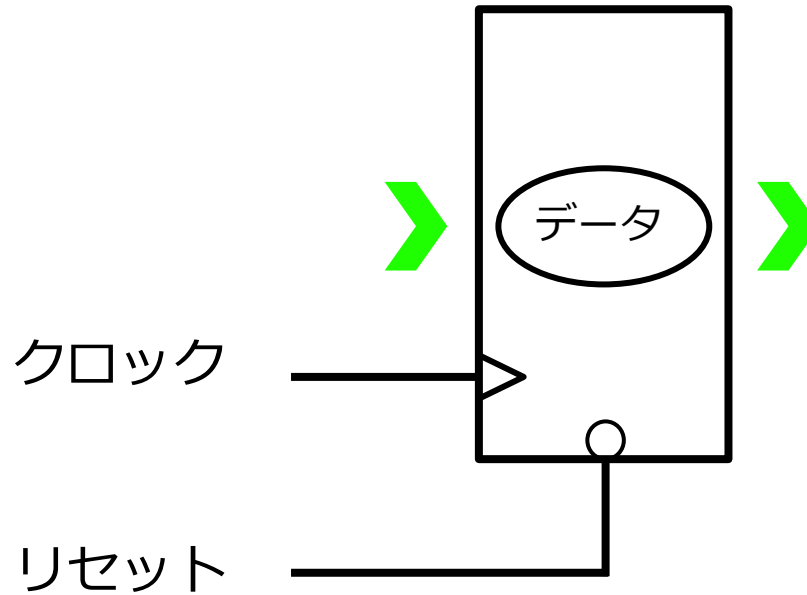


命令とアドレス

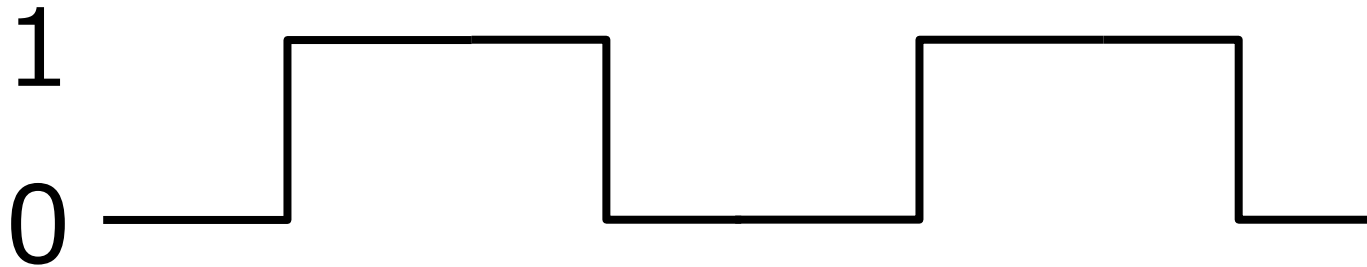
アドレス	命令
00	命令1
01	命令2
02	命令3
03	命令4



レジスタにはデータの出入り口の他に
レジスタを制御する口がある

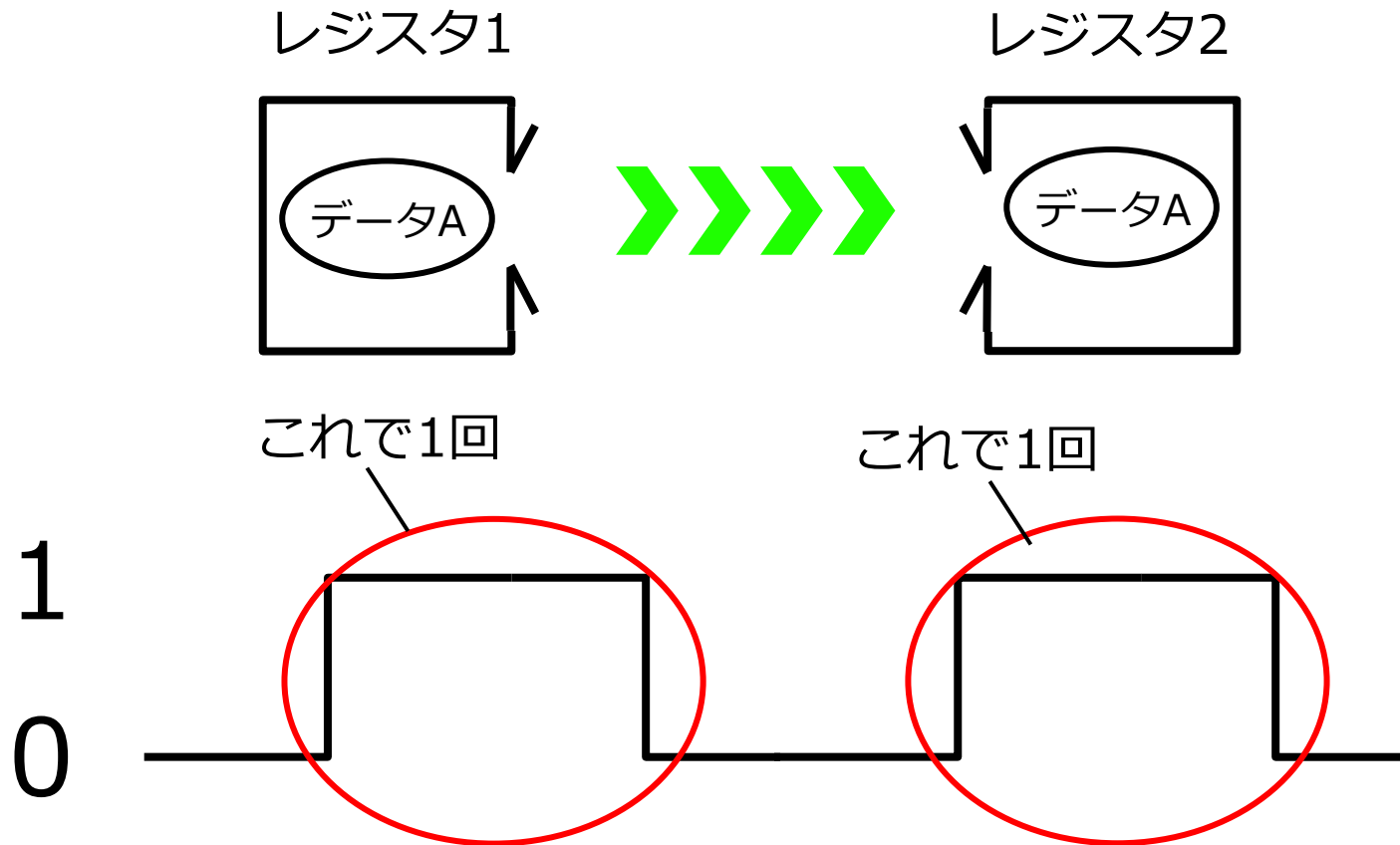


クロックは動きを制御する
リセットはデータをリセットする

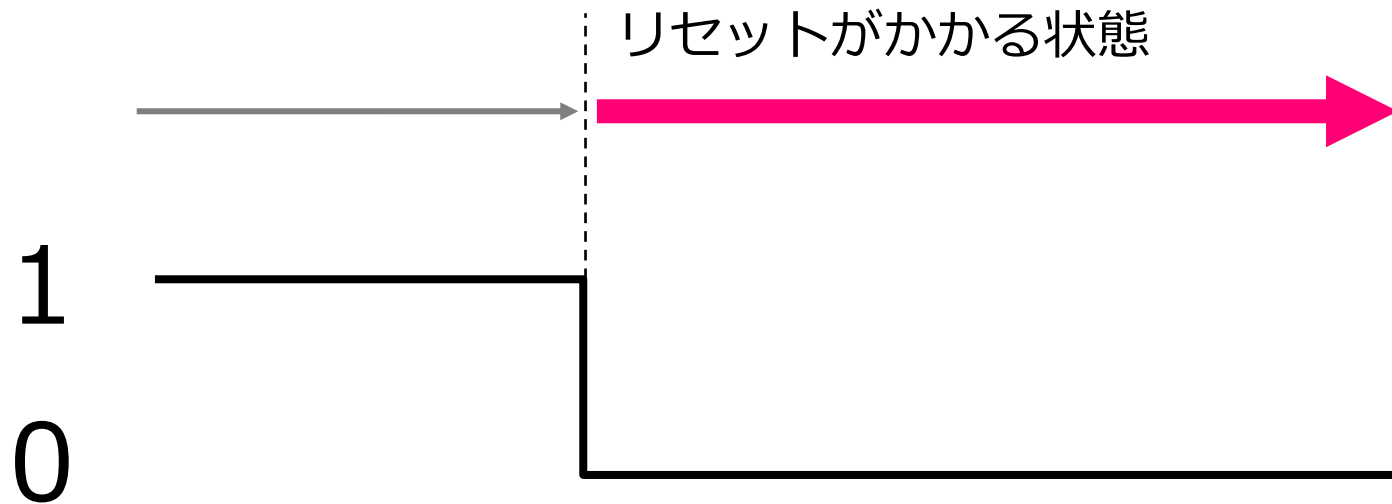


クロックは0と1の繰り返しの信号

クロックとリセット



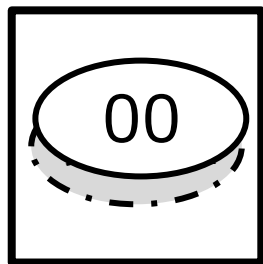
クロック1回でコピーが1回



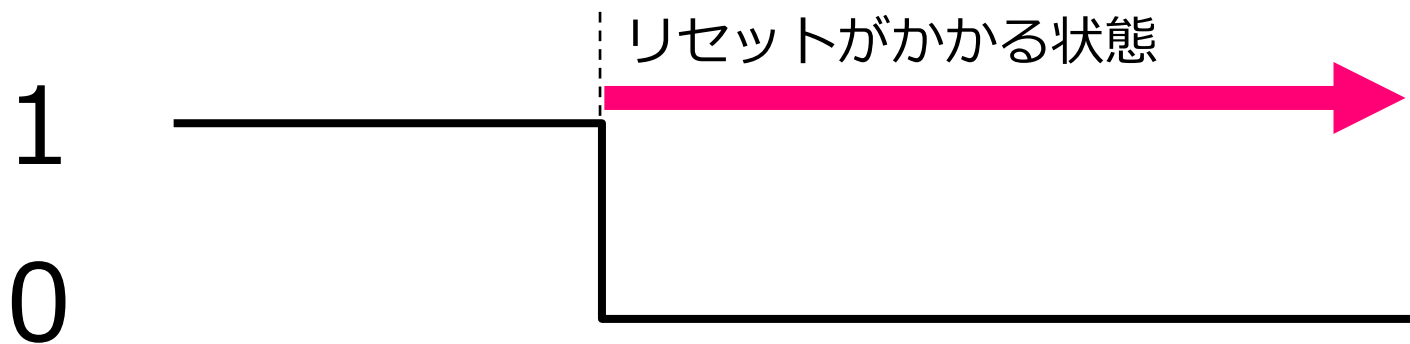
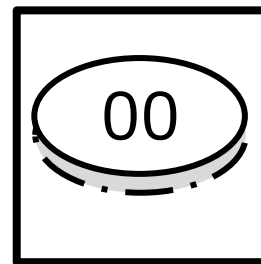
リセットは普段ずっと1
リセットをかける時に0になる

クロックとリセット

レジスタ1



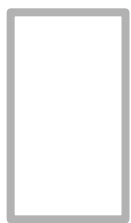
レジスタ2



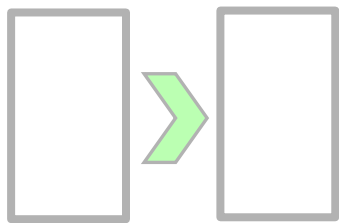
リセットがかかるとデータが
0に上書きされる

CPUを構成する概念

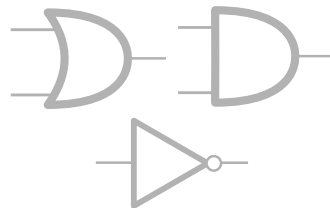
レジスタ



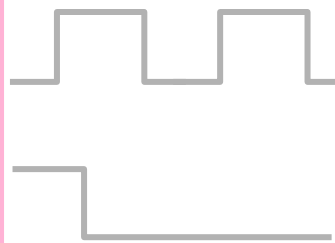
データのコピー



組み合わせ回路

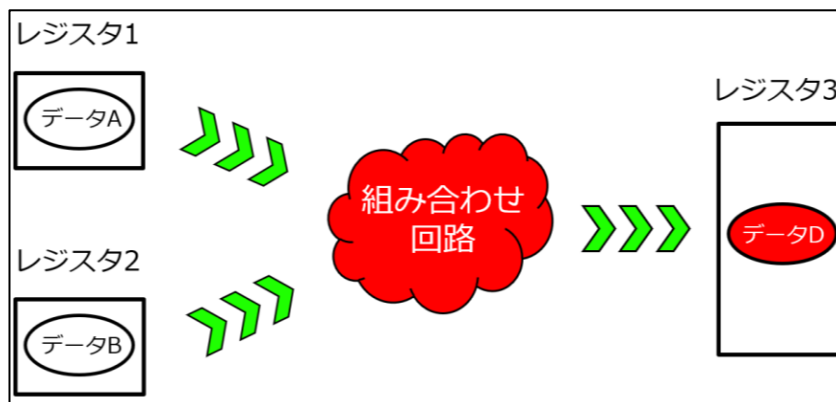
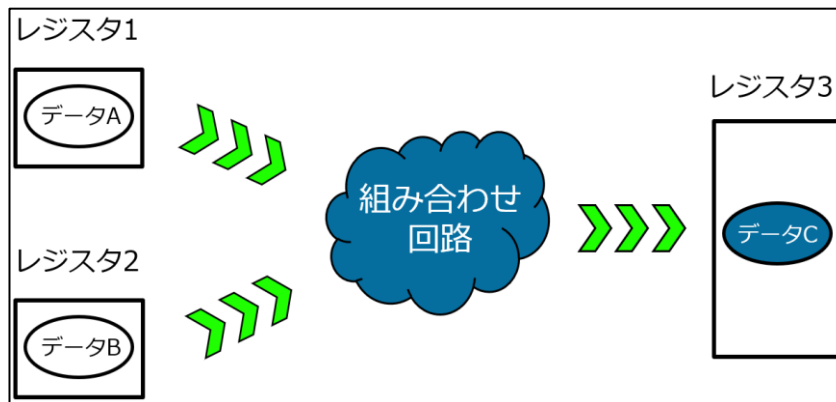


クロックとリセット



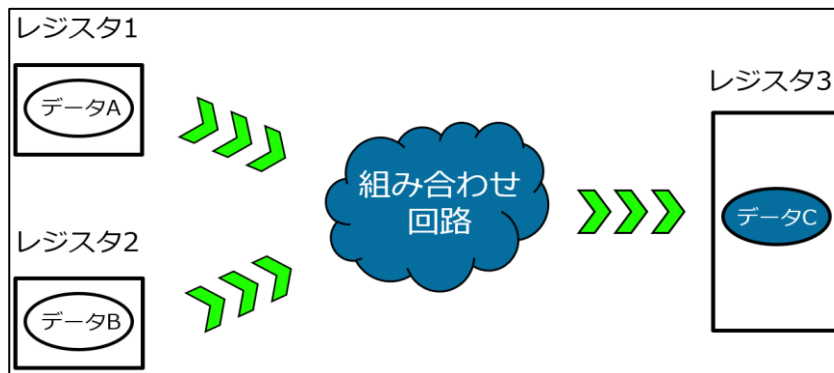
命令とアドレス

アドレス	命令
00	命令1
01	命令2
02	命令3
03	命令4

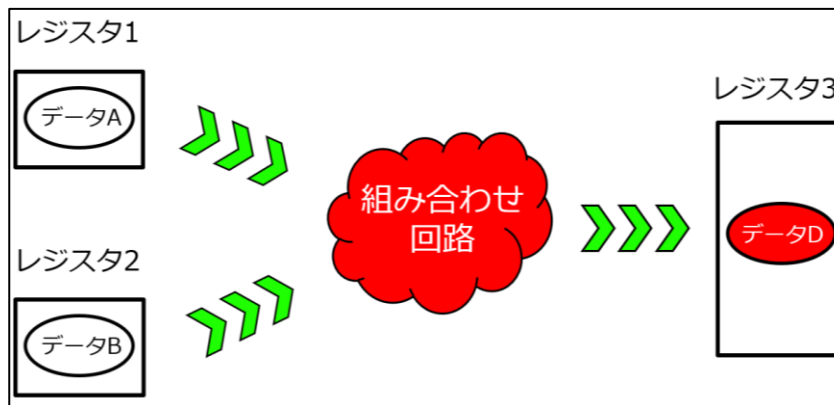


使用する組み合わせ回路によって
変換結果が変わる

命令0



命令1



使用する組み合わせ回路に
名前を付ける。→命令名

命令を入れる箱をたくさん用意する

命令0
命令1
命令0
命令1

箱に実行したい命令を入れておく
複数並んだ命令=プログラム

アドレス

00	命令0
01	命令1
02	命令0
03	命令1

箱には番号がついている
これがアドレス

アドレス

00	命令1
01	命令1
02	命令0
03	命令0

実行したい順番に命令を入れる

メモリ

00	命令1
01	命令1
02	命令0
03	命令0

いっぱいのは箱はメモリという

CPUを構成する概念

レジスタ

データを入れる箱

データのコピー

データをレジスタからレジスタへコピー

組み合わせ回路

コピーする途中でデータを変換

クロックとリセット

クロックでコピーが進む
リセットで全部0になる

命令とアドレス

どの組み合わせ回路を使うか指示する

CPUをつくる

はじめに

概念の学習

▶ CPUを作る

CPUをつくる

- 回路をループさせる
- プログラムカウンタ
- 命令デコーダ

- シミュレータ Logisim
- Logisim上で作成

回路をループさせる



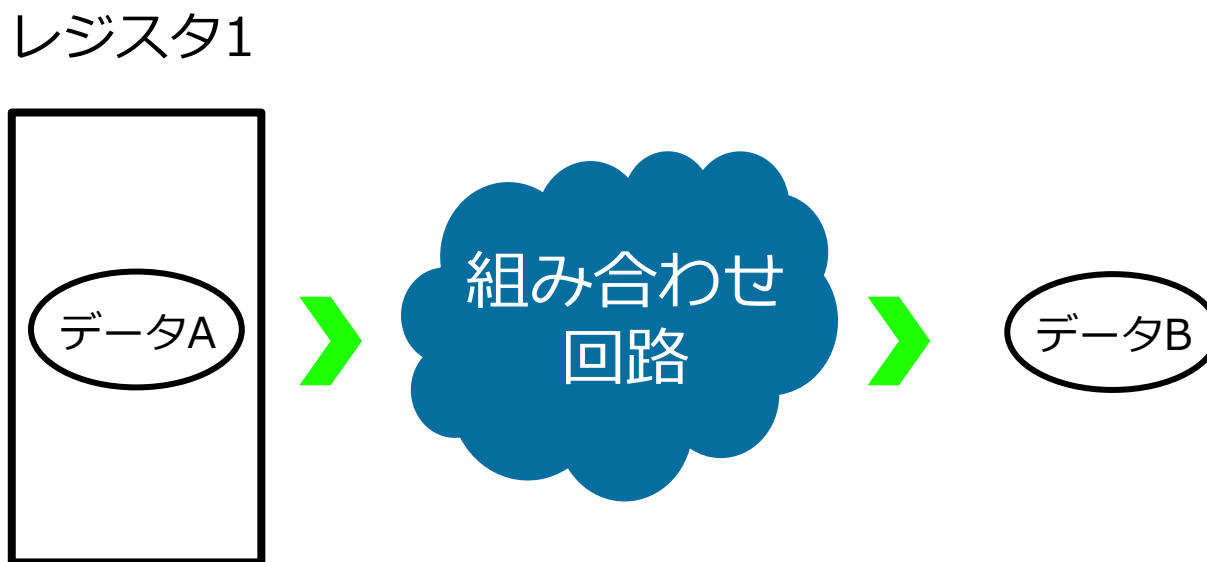
コピーの回路をもってくる

回路をループさせる



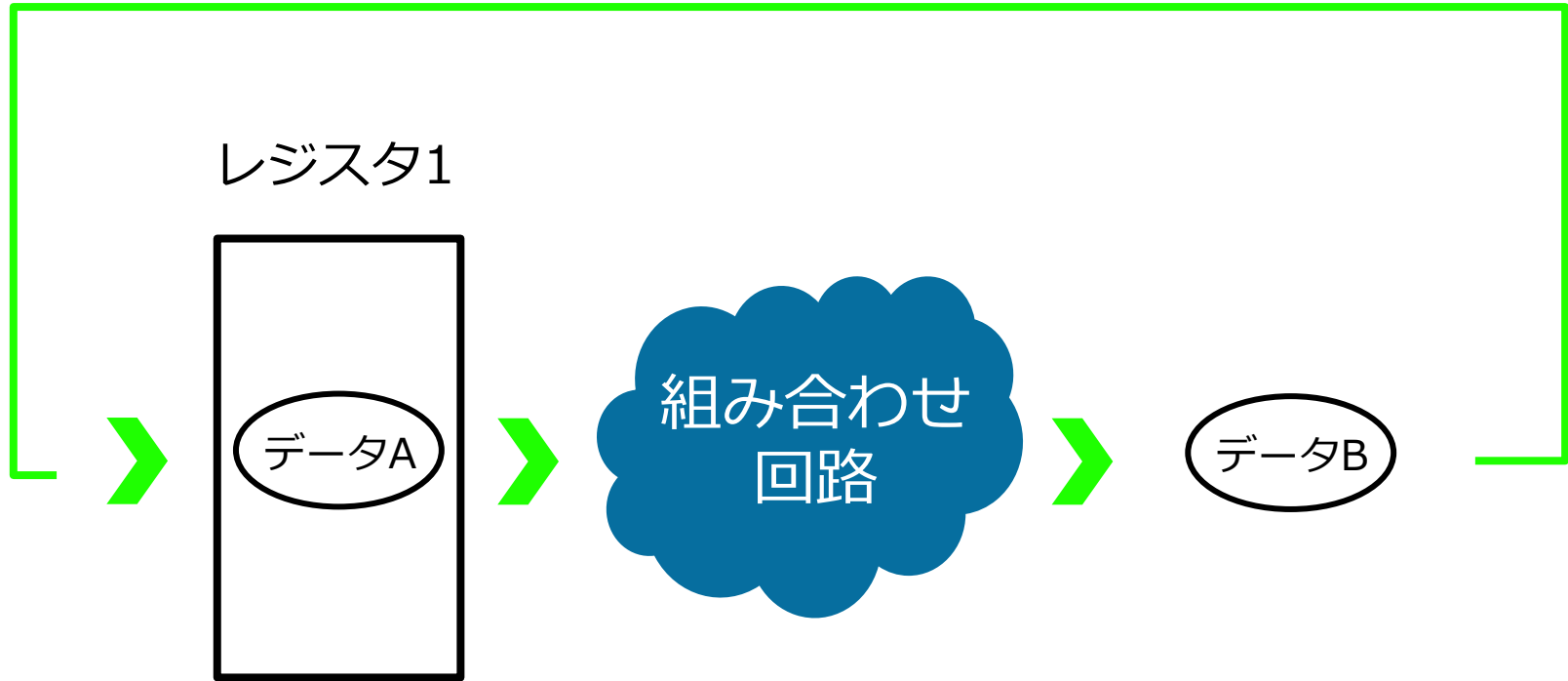
コピーは一度実行すると止まってしまう
次々に命令を実行させたい

回路をループさせる



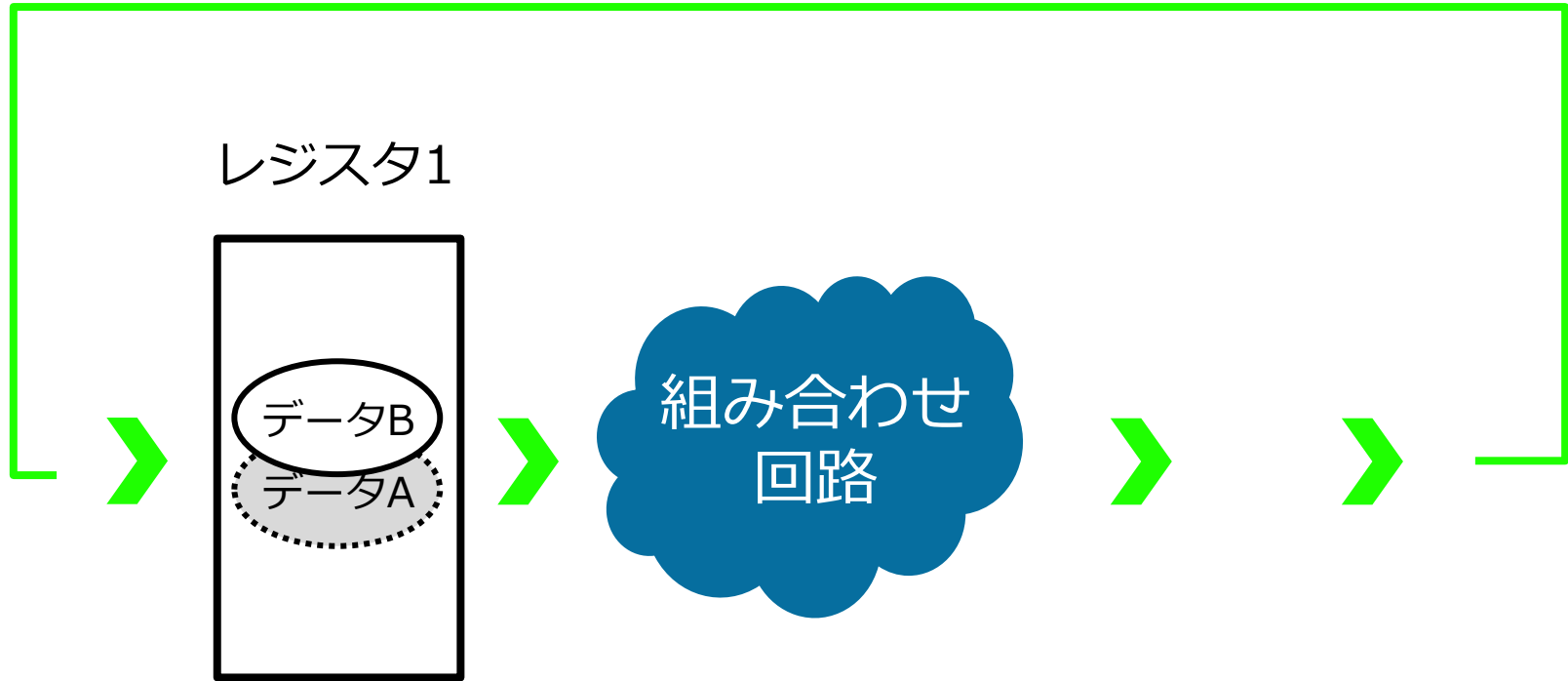
レジスタ2を削除する

回路をループさせる



ループさせてレジスタ1につなぐ

回路をループさせる



データAがデータBに変換され上書き

プログラムカウンタ

メモリ

00	命令0
01	命令1
02	命令0
03	命令1

メモリをもってくる

プログラムカウンタ

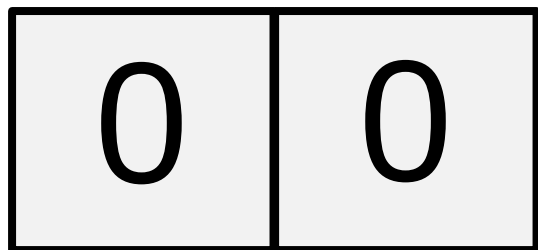
メモリ

00	命令0
01	命令1
02	命令0
03	命令1

命令を順番に実行するには
00→01→02→03と数える必要がある

プログラムカウンタ

プログラムカウンタ



メモリ



00

命令0

01

命令1

02

命令0

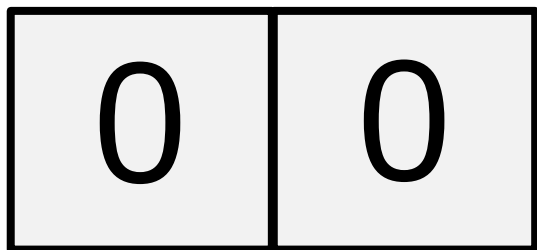
03

命令1

命令を順番に実行するには
00→01→02→03と数える必要がある

命令デコーダ

プログラムカウンタ



00

命令0

01

命令1

02

命令0

03

命令1

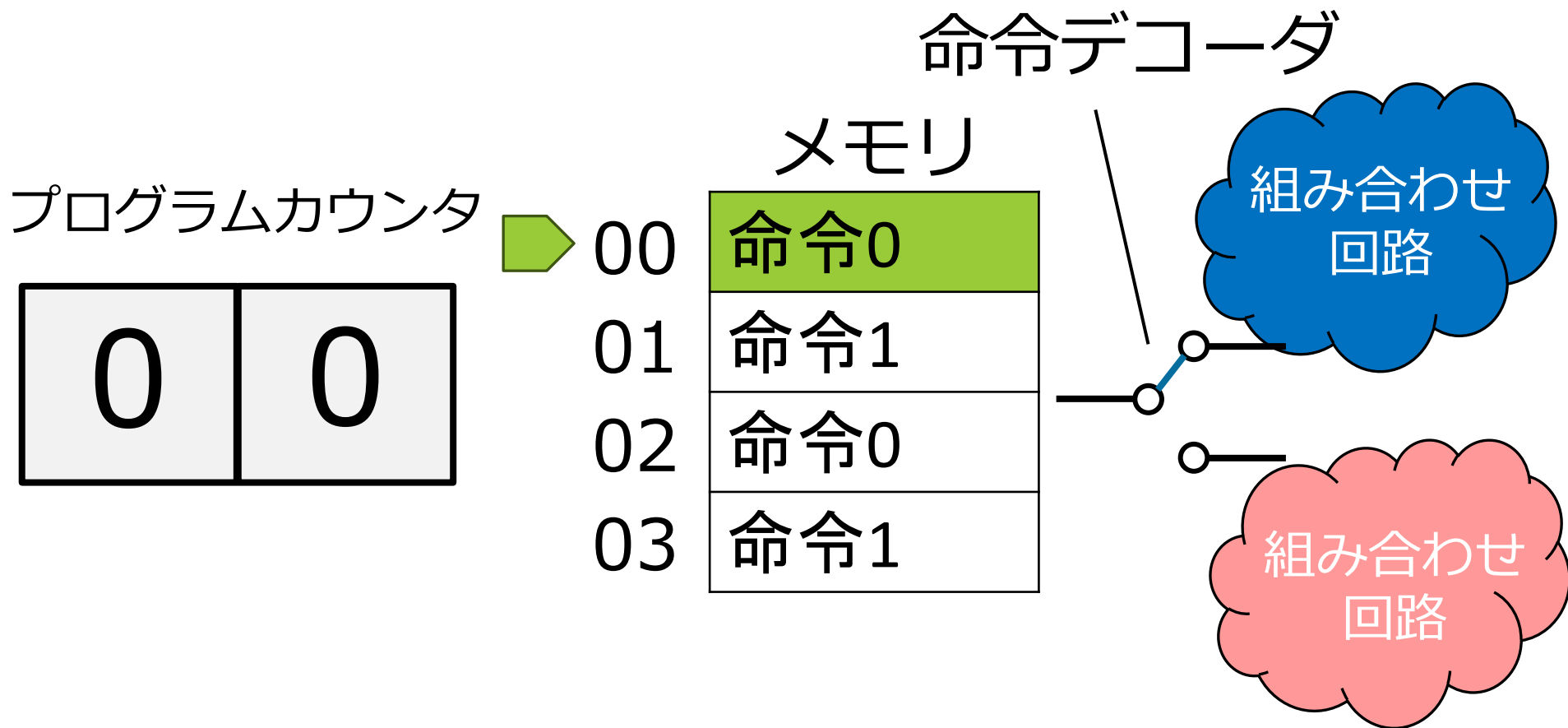
メモリ

組み合わせ
回路

組み合わせ
回路

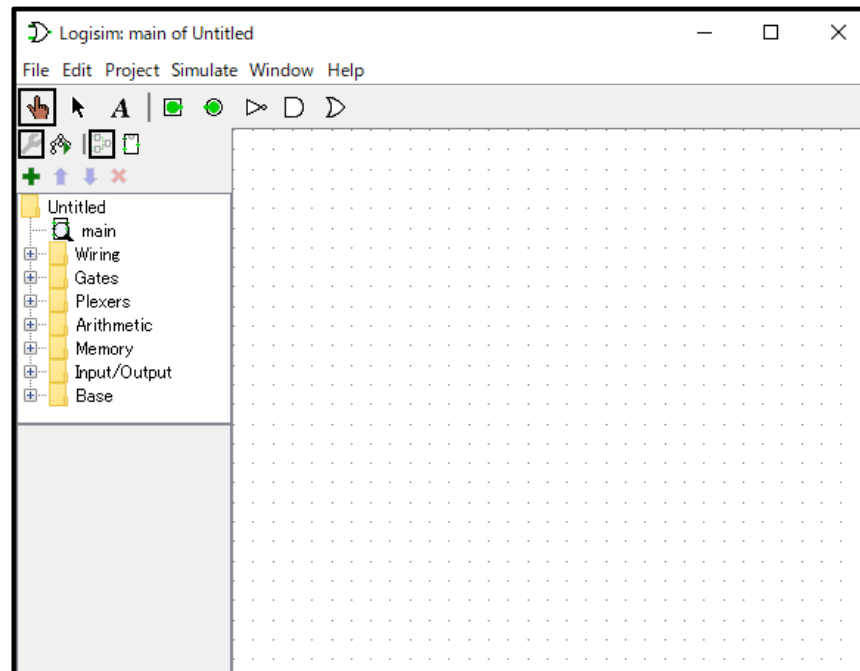
選択された命令により組み合わせ回路
が選択される

命令デコーダ



メモリと組み合わせ回路の間に
命令デコーダがあり選択される

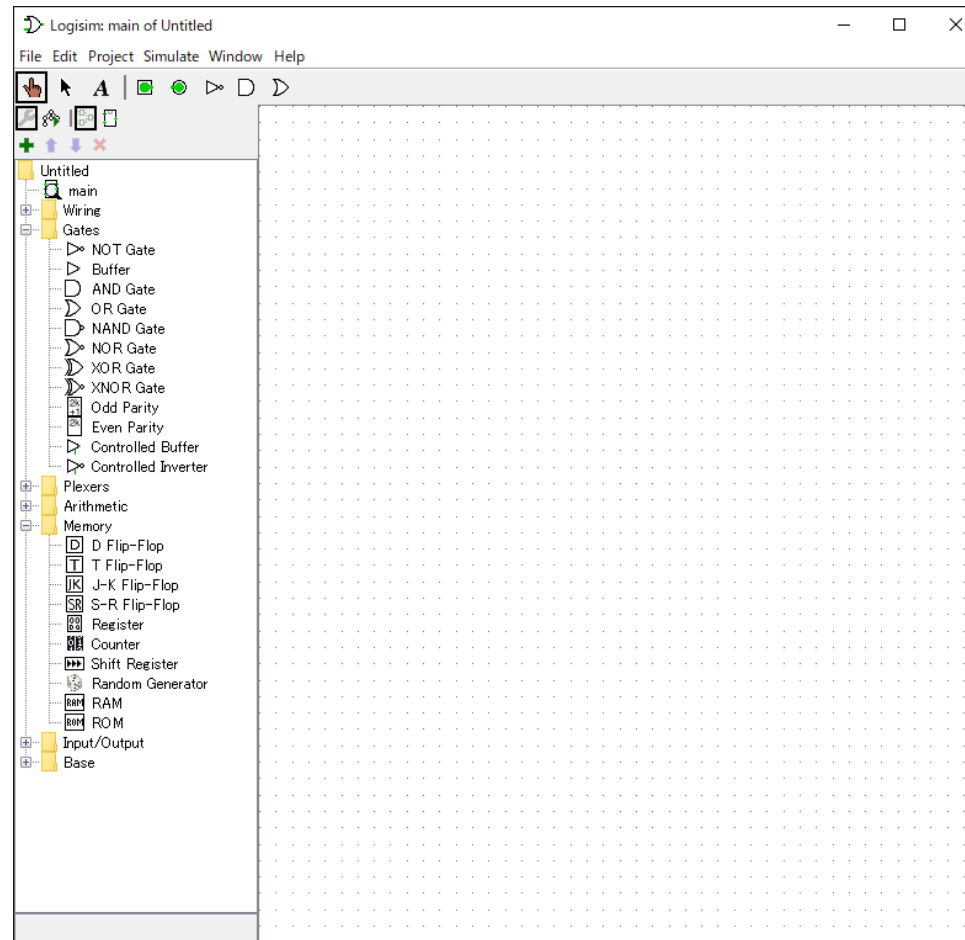
シミュレータ Logisim



<http://www.cburch.com/logisim/>

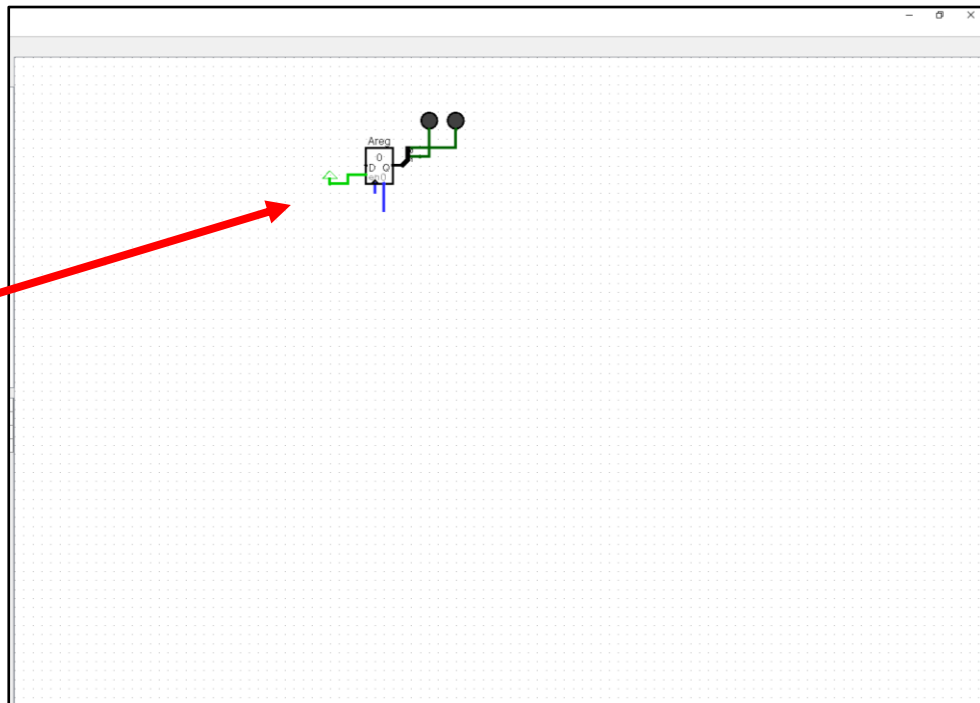
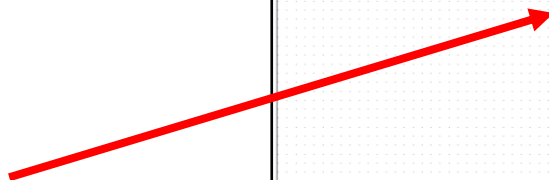
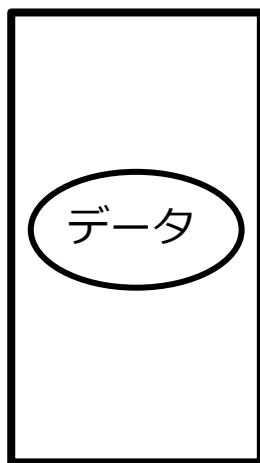
フリーの論理回路シミュレータです

シミュレータ Logisim



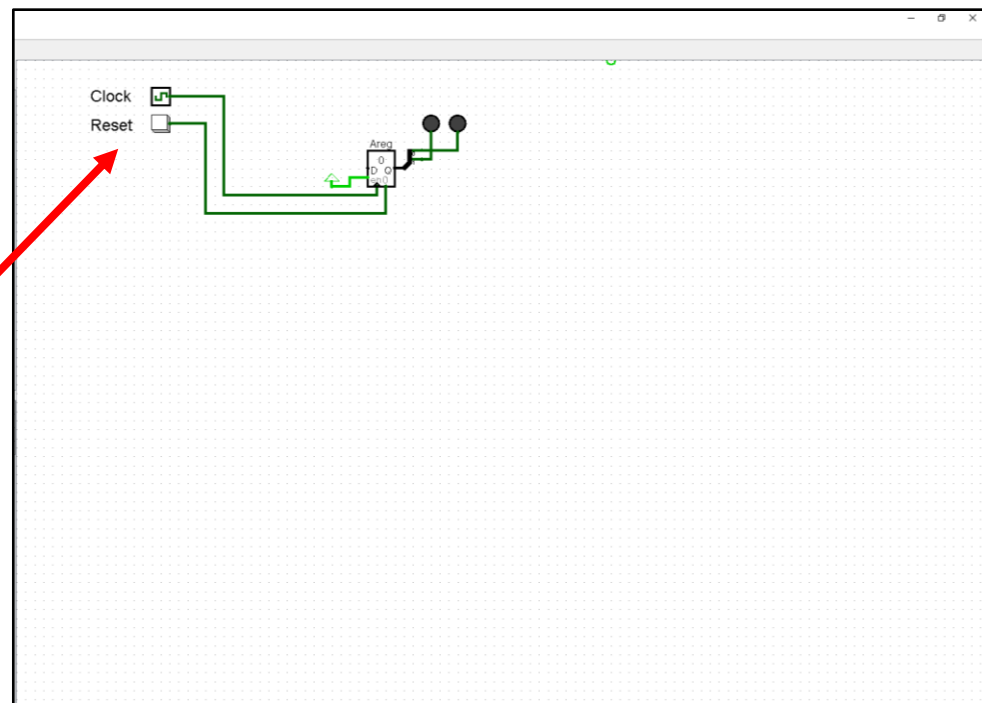
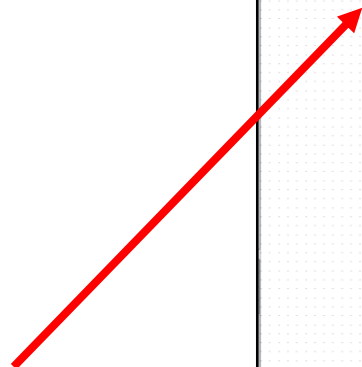
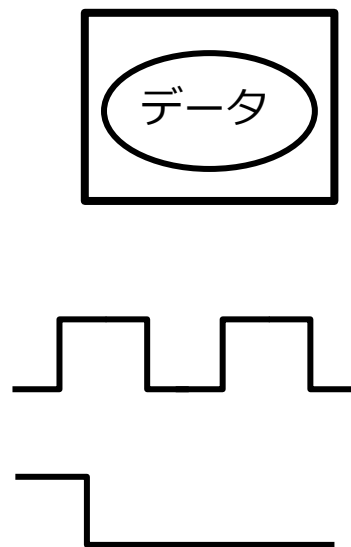
部品リストから部品を選択して配置する
詳細な使い方は割愛

Logisim上で作成



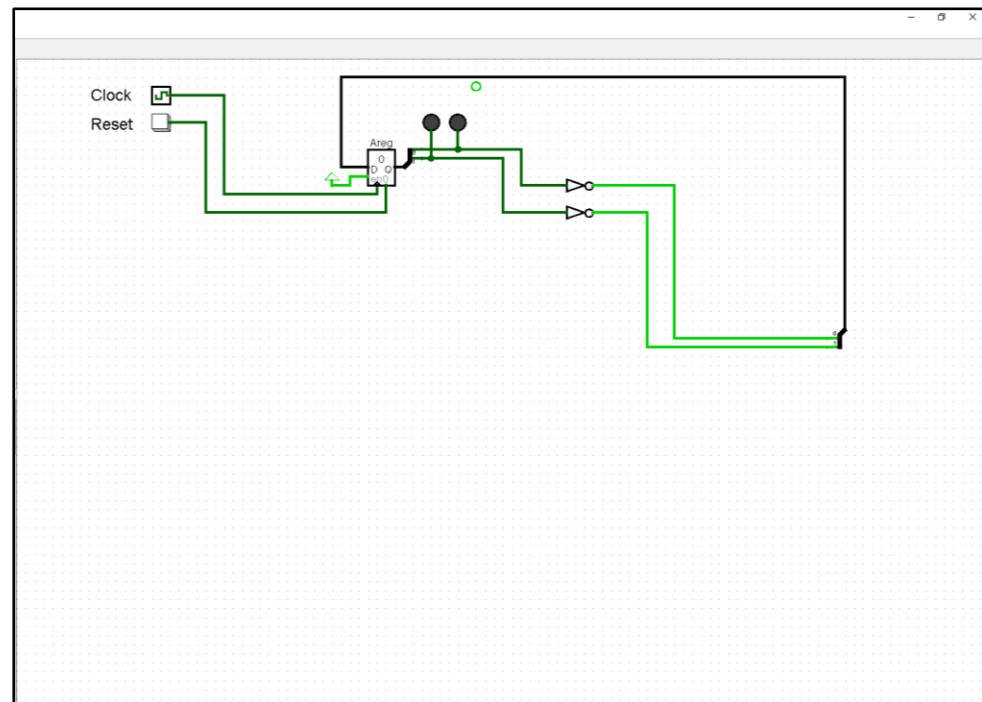
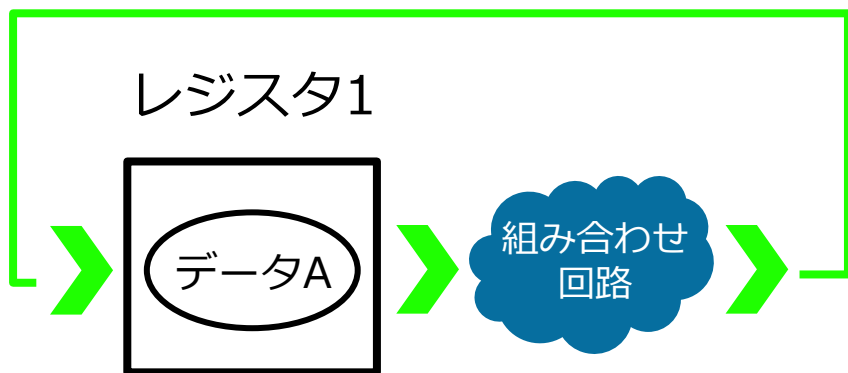
レジスタを1個配置する

Logisim上で作成



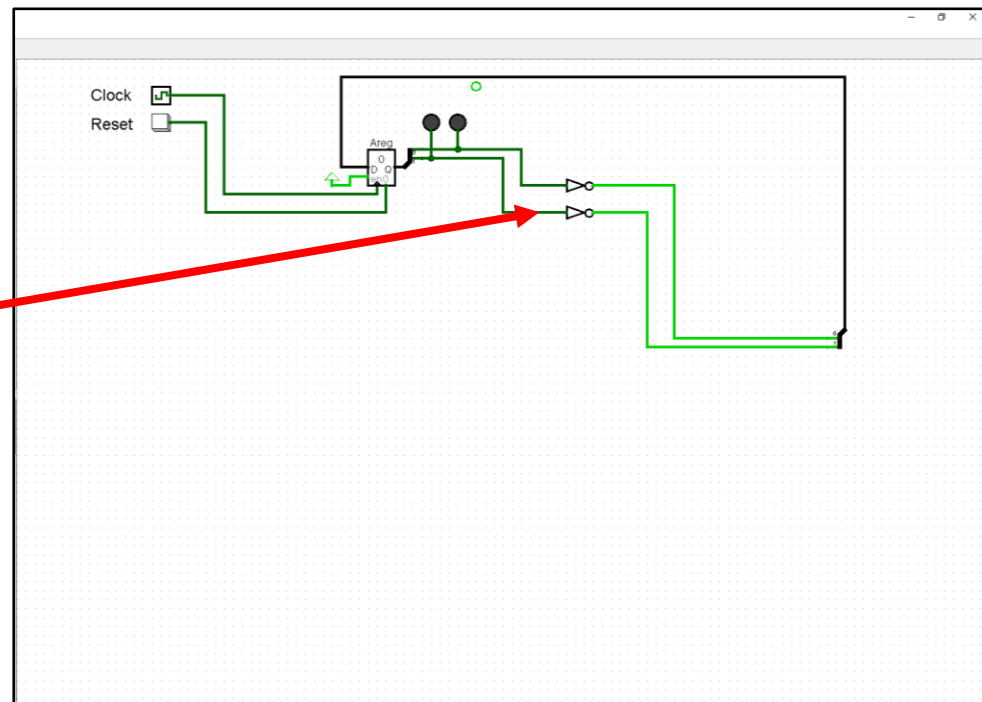
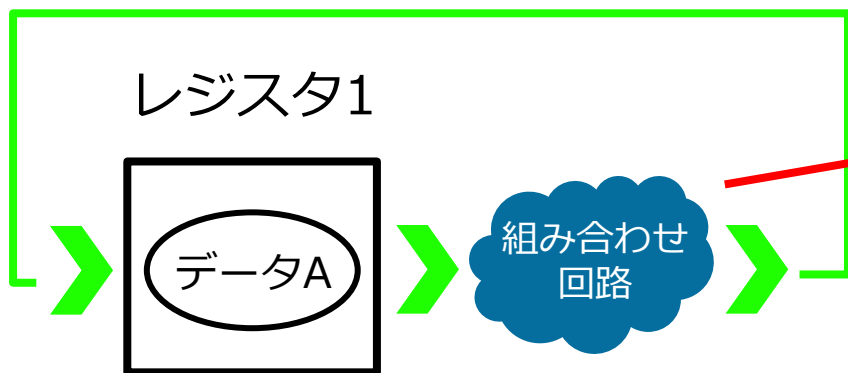
レジスタにクロックとリセットを追加

Logisim上で作成



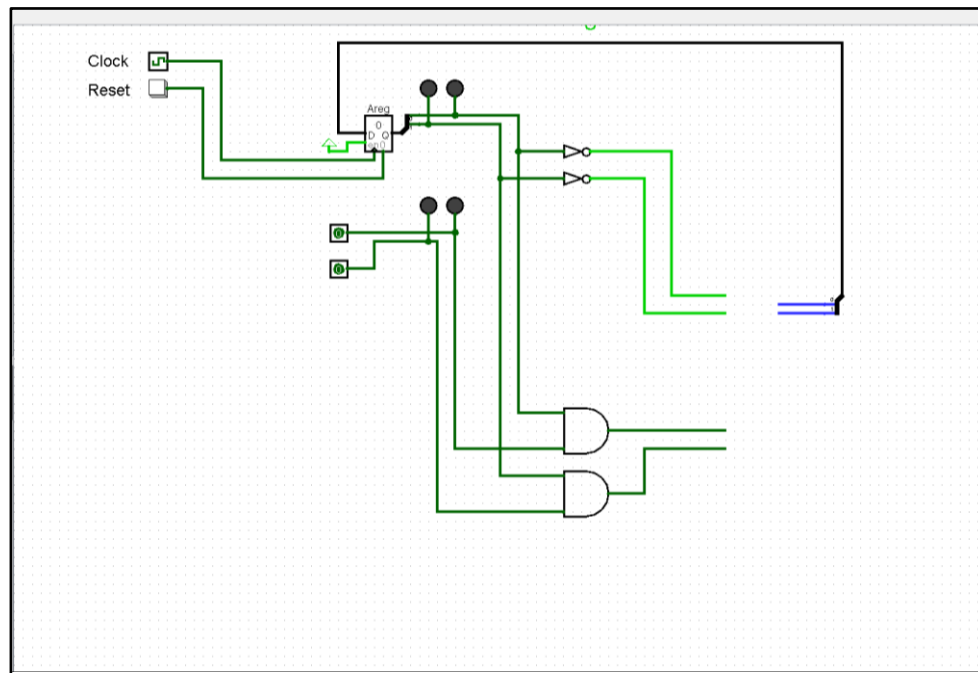
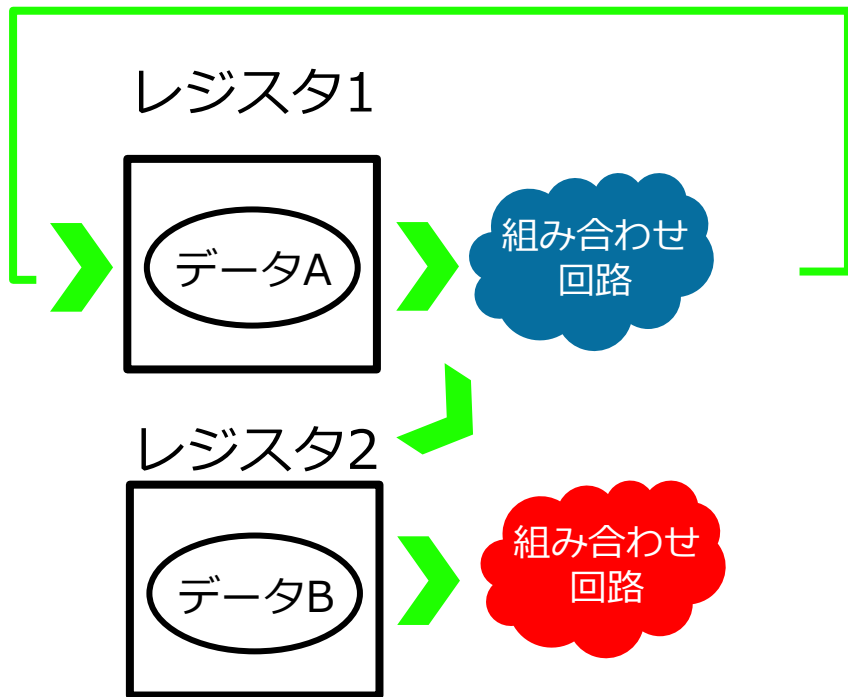
回路をループさせる

Logisim上で作成



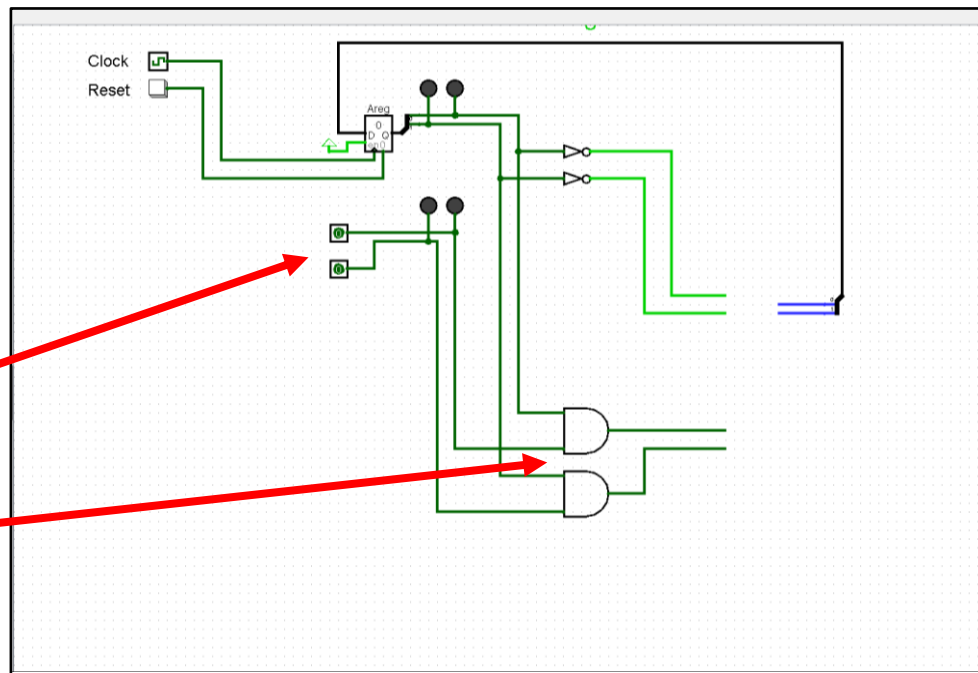
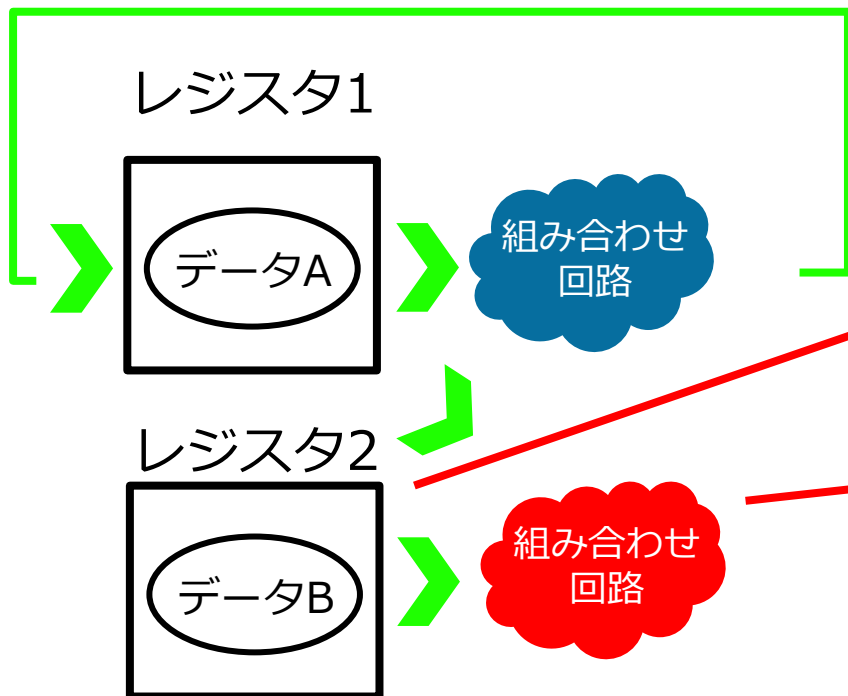
組み合わせ回路はNOT回路

Logisim上で作成



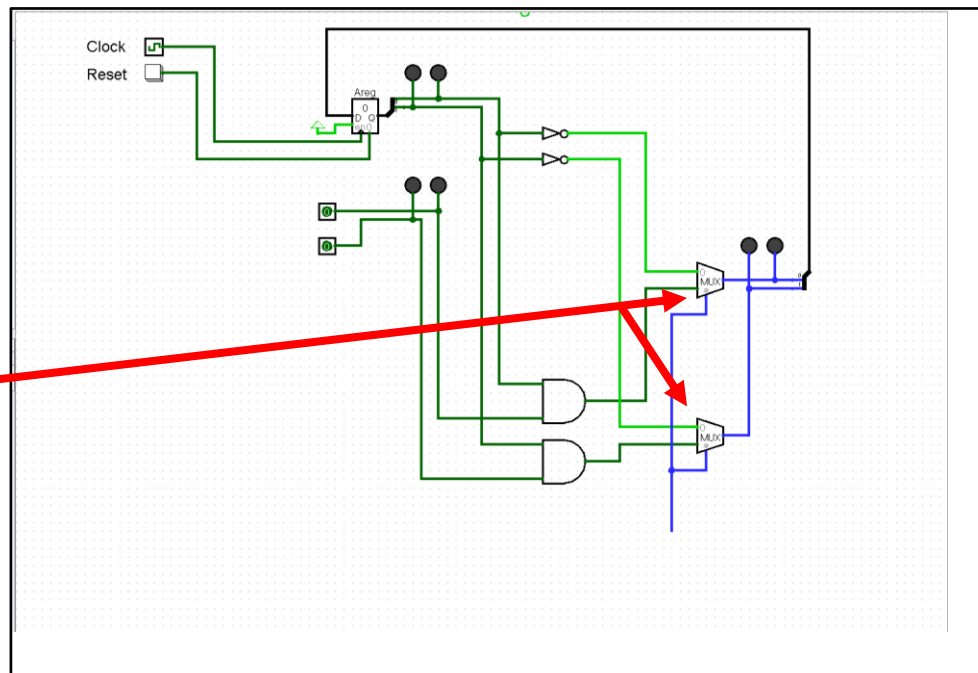
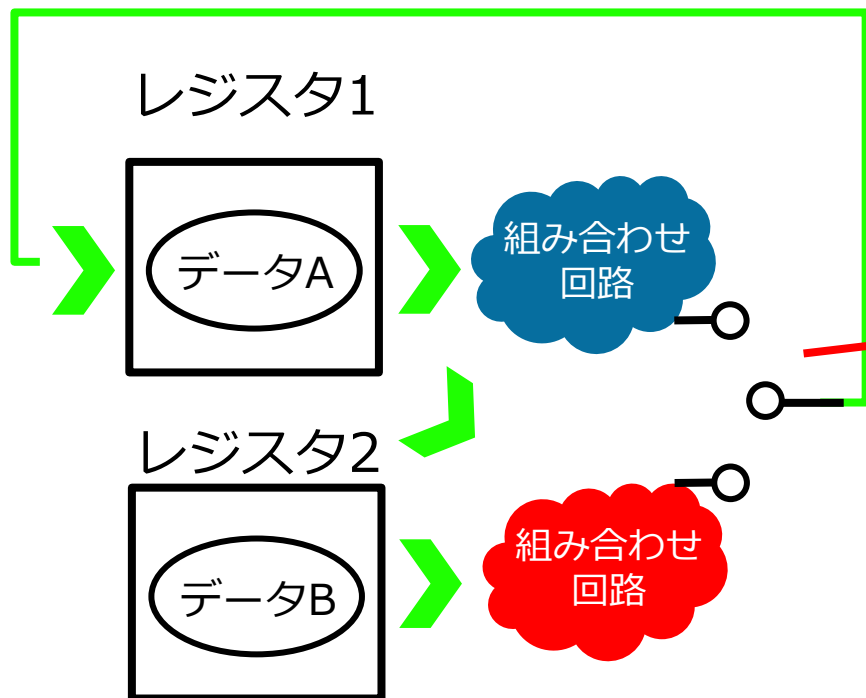
レジスタ2と組み合わせ回路を追加

Logisim上で作成



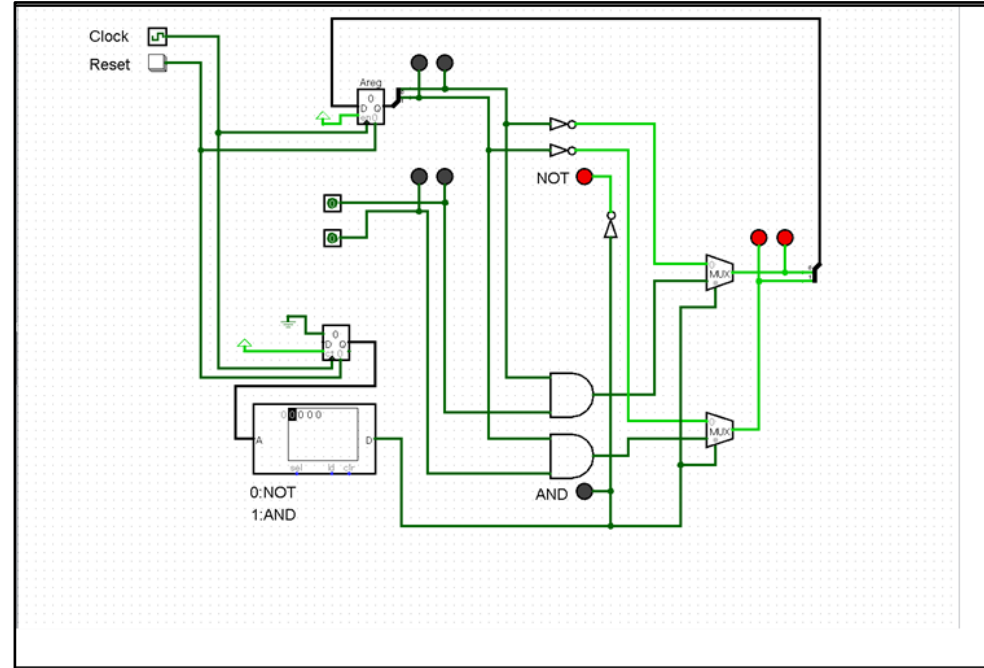
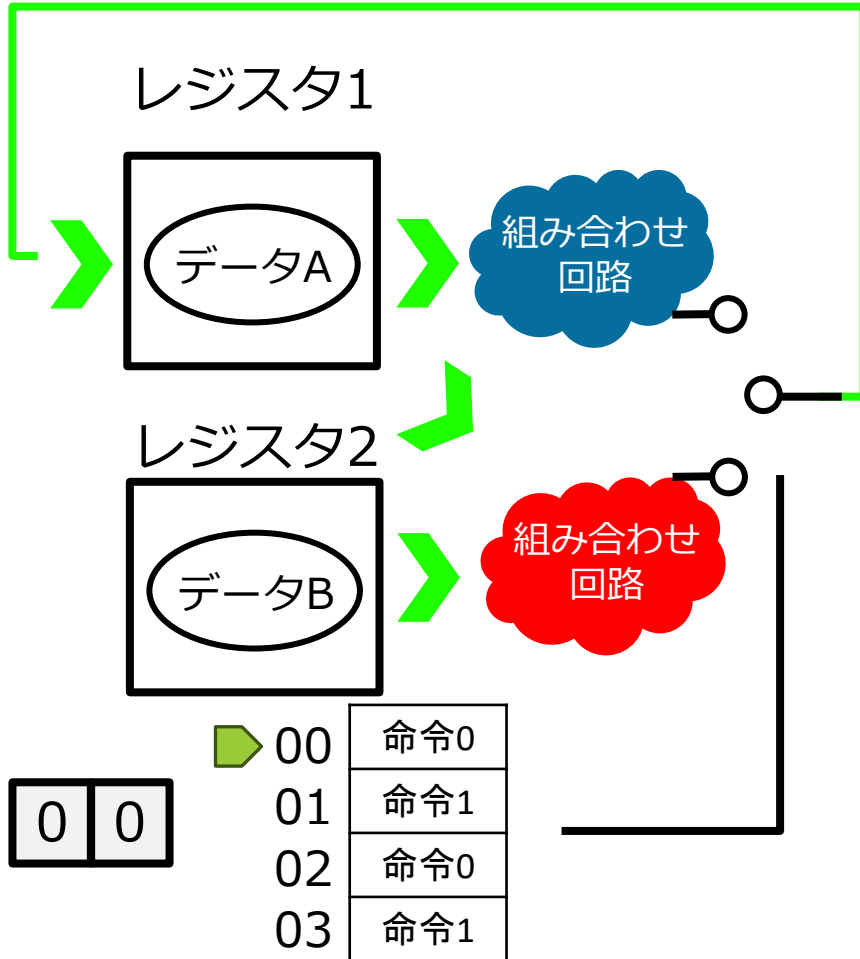
レジスタ2と組み合わせ回路を追加
AND回路は変換元が2つの組み合わせ回路

Logisim上で作成



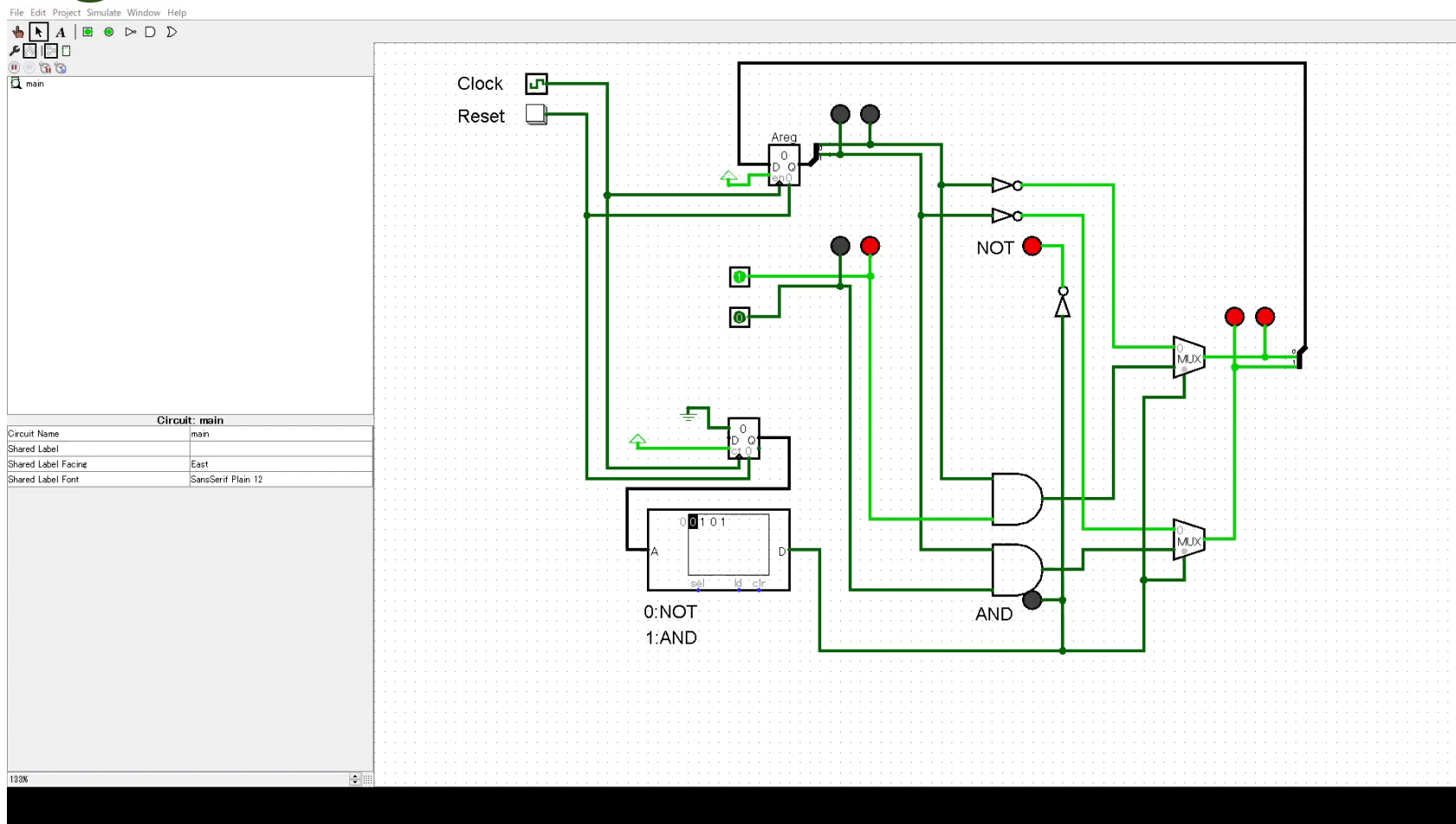
命令デコーダを追加

Logisim上で作成



プログラマカウンタを追加
メモリを追加

Logisim上で作成



完成!!

みやこ電工工房
MIYAKO DENSHI KOBO